



社会人・学生のための大学・大学院情報

人間に関する幅広い研究 男女共学の夜間大学院

人間科学、臨床心理、 幼児教育学の2領域1コース

医学の著しい進歩、人口の高齢化、疾病構造の変化、死の定義をめぐる論議、生涯教育の理念、子育てや家族関係の変容…。生と死をめぐるさまざまな問題がクローズアップされる中、人間に関する深い研究と教育をベースに、教育、医療、社会教育、社会福祉、宗教など幅広い分野で、今日の諸問題に対応できる高度な知識を備えたスペシャリストの育成を目的としている。

本研究科は、『人間科学領域』『臨床心理学領域』『幼児教育コース』の2領域1コース構成。発育・発達学、社会・社会福祉学、教育学、宗教学分野からの多角的・学際的な人間研究に加え、バイオ・サナトロジー（死生学）の視点からもアプローチしている点が、大きな特色だ。

幅広く意欲ある院生を募るため、男性・女性を問わず、社会人が働きながら学べるように講義は平日の夜間と土曜日を中心に開講。セメスター制や長期履修学生制度も導入され、人間科学領域・臨床心理学領域において博士後期課程も設置されている。

■人間科学領域
発育・発達関連、社会・社会福祉学関連、教育学関連、宗教学関連、死生学関連の5分野において、それぞれの専門的研究・教育を実施。特に「死生学」（バイオ・サナトロジー）は人間の生と死に関する研究で、宗教学、倫理学など学際的な視点からのカリキュラムが特徴である。

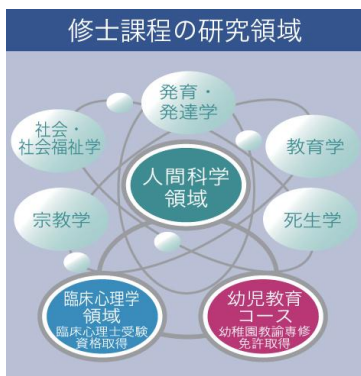
■臨床心理学領域
臨床心理士養成教育のための実際的な研究と教育を中心としている。本大

学院は、臨床心理士試験受験資格取得のための第一種大学院の指定を受けており、所定の資格課程科目を履修することによって、インターン経験なしに資格試験を受験可能。スペシャリストへの近道をたどることができ。

■幼児教育コース
「敬神奉仕」の精神を具現化する幼児教育をテーマとし、幼稚園教諭専修免許資格取得を目的とした修士課程。専門性に幅広い教養と国際性をプラスし、世界で子供の幸せに貢献できる指導者を目指す。キリスト教精神の長い伝統を誇る東洋英和ならではのコース。

臨床心理士資格試験受験 第一種大学院

臨床心理学領域は、(財)日本臨床心理士資格認定協会から、臨床心理士資格試験受験第一種大学院として指定されている。2009年度の臨床心理士試験の合格率は78%である。



1年次から実習やカンファレンスを通して実践的に研究



人間科学研究科人間科学専攻1年 山口 麻衣子さん

社会人大学院、学外実習、 ケースカンファレンスの3つが魅力

私は精神分析的心理療法を学ぶために東洋英和女学院大学大学院に入り、臨床心理学領域の研究をしています。将来はカウンセラーとして病院で働くことを希望しています。東洋英和のよいところは、社会人の方も多いため、そして学外実習やケースカンファレンスが1年次の早い時期から始まることです。

私は学部卒業後すぐにこの修士課程に進みました。将来、私のクライアントとなる人は年上もいれば、社会で働いている人もいます。この大学院は社会人に広く門戸を開いているので、さまざまな立場の人たちの視点を得られる環境だと期待しています。私の学年は同世代が多いのですが、40代、50代の方もいらっしゃって、日々、新しい視点に気付かされます。

学外実習は、人それぞれですが、私は5月初旬から始まりました。実習は週1回、病院の精神科に向いて診察に陪席しています。ベテラン医師による患者さんへの共感や介入の仕方など、そばで見ていると学ぶことが多いです。

ケースカンファレンスは、臨床心理学領域のすべての教員と修士・博士後期課程の学生が参加して週に1回行われます。個別の事例について、さまざまな視点からみんなで考え、共有していくうちに、「クライアントのため」とはどういうことなのか、ケースカンファレンスを通じて養われていると感じます。私は学部の3年生のときからメンタルクリニックでクライアントと医師のやりとりを記録する仕事をしていましたが、最近では、クライアントの言葉の裏にある気持ちが少しずつつかめるようになってきた気がしています。これも東洋英和での研究の成果だと思っています。

教授のきめ細かい指導により 理論と実習の両輪を取得

実際の授業は、どれも臨床心理家を志す上で大切なものばかりです。例えば「臨床心理基礎実習」は、学外実習への心構えをはじめ、まさに現場ですぐに役立つ臨床家としての基礎を学べます。「臨床心理面接特論」は、小坂和子教授の指導がきめ細かく、1つの疑問に対して、一歩、二歩進んだところまで教えてくださいます。ゼミの担当は角藤比呂志教授で、ゼミで

は、アセスメント能力を基盤に、精神分析・認知行動療法・家族療法を統合した心理療法を学んでいます。私の修士論文は角藤教授にご指導いただくのですが、その中間報告が来年2月なので、今はテーマを熟考中です。学部生のときの卒業論文のテーマが、より効果的な治療のための相槌研究だったので、それをさらに深めた内容にすべく構想を練っています。

クライアントに寄り添う専門家とは？ 自問し探求する日々

この大学院は、修了後インターンなしに臨床心理士の資格試験を受験できます。私も資格を得られるよう、がんばっています。目指しているのはクライアントの心に寄り添えるセラピストです。共感するというのは同情とは違うということ、クライアントと話をしながら、クライアントの心の動きに注目しつつ自分の心の動きにも着目するという方法など、さまざまなことを日々、体得しています。そして「クライアントのため」という考え方が、以前は揺らいでいた部分もあったのですが、今では確固たる信念として自分の中に入ってきていることを実感しています。

※注
『日経大学・大学院ガイド2010年秋』の原稿をもとに作成しており、実際の出版物とは異なります。 東洋英和女学院大学大学院